

2022.8.1



山武市
SAMMU



議会だより **No. 65**



換気や座席間隔などの感染対策を施しつつ、研修会が開催されました（関連記事 14 ページ）

今月の
表紙

3年ぶりの議員研修会

- 審議結果一覧（第2回定例会）…………… p2
- 常任委員会審査報告…………… p3
- 一般質問（第2回定例会）…………… p4～13
- 山武市議会活動レポート…………… p14
- 小学生の議場見学 ～ようこそ議場へ～…………… p15
- 新人議員を紹介します ほか…………… p16



山武市マスコットキャラクター
SUN ムシくん

委員会	審議結果	質疑等要約
<p>総務常任委員会 (6月13日開催)</p>	<p>【原案承認】 議案第4号</p> <p>【原案可決】 議案第5号 議案第6号 議案第10号の一部</p>	<p>山武市職員の給与に関する条例の一部改正について (議案第5号)</p> <p>問 会計管理者の職務の級を改正する理由は。</p> <p>答 市の行政全般にわたる政策の調整を図るため、新たな部長級の職として、(仮称)政策調整監の設置を予定しています。</p> <p>そのような中で、組織の均衡を図り、現状の部長級の人数を維持するため、また、近隣市町における会計管理者の状況を踏まえ、職務の級を8級から7級へ改正するものです。</p>
<p>文教厚生常任委員会 (6月14日開催)</p>	<p>【原案可決】 議案第10号の一部 議案第11号</p> <p>【採 択】 請願第1号 請願第2号</p>	<p>こども園運営事業および小中学校備品整備事業について (議案第10号)</p> <p>説明 市内篤志家からの寄附金を活用し、各施設において以下のとおり備品等を購入するため、予算を増額補正するものです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○まつおこども園 30万円 (園舎入口掲示板) ○おおひらこども園 31万1,000円 (園庭用遊具) ○松尾小学校 75万1,000円 (体育館用スクリーンほか) ○太平小学校 70万円 (乗用草刈り機ほか) ○山武望洋中学校 101万3,000円 (多目的ホールカーテンほか)
<p>経済建設常任委員会 (6月15日開催)</p>	<p>【原案可決】 議案第7号 議案第10号の一部</p>	<p>自治体連携森林整備事業について (議案第10号)</p> <p>問 この事業の事業内容は。</p> <p>答 本年3月に浦安市との間で締結した「森林整備の実施に係る協定」に基づいて、新たに創設した事業です。</p> <p>具体的には、浦安市に対する山武市産木材を加工した製品の提供および市内の森林整備(間伐・植栽等)を行うための補助を予定しており、財源はすべて浦安市からの負担金で賄われます。</p> <p>問 浦安市が費用を負担するメリットは。</p> <p>答 浦安市は、浦安市内から出る二酸化炭素排出量を、この事業で行う森林整備で獲得できる二酸化炭素吸収量で相殺する「カーボン・オフセット」として還元を受けることができます。</p> <p>なお、協定期間の5年間で浦安市が得られる二酸化炭素吸収量は60トンを見込んでいます。</p>

6月定例会 一般質問

市政を問う！

p5 代表質問 新政会 さくらだ 櫻田 もとすけ 基介

- ①市長の政治姿勢について
- ②消防防災対策について
- ③農林水産業の振興について
- ④市民サービスについて
- ⑤都市整備の推進について
- ⑥観光行政について
- ⑦福祉行政について
- ⑧公共施設の運用について

p6 関連質問 新政会 とむら 戸村 かつとし 勝敏

代表質問に対する関連質問

p6 関連質問 新政会 さいとう 齋藤 まさひで 昌秀

代表質問に対する関連質問

p7 関連質問 新政会 わたなべ 渡邊 さとし 聡

代表質問に対する関連質問

p8 代表質問 公明党 いちかわ 市川 ようこ 陽子

- ①市長の重点施策について
- ②地方創生臨時交付金について
- ③安全・安心なまちづくりについて
- ④福祉施策について

p9 関連質問 公明党 はせ べりゅうさく 長谷部 竜作

代表質問に対する関連質問

p9 関連質問 公明党 ふかざわ 深沢 まこと 誠

代表質問に対する関連質問

p10 代表質問 れいわ おがわ 小川 かずま 一馬

- ①山武市の海岸について
- ②教育行政について
- ③環境問題の取組について

p11 関連質問 れいわ たまおきみ 玉置美津恵 つえ

代表質問に対する関連質問

p12 個人質問 日本共産党 なみき 並木 みきお 幹男

- ①コロナ禍における原油価格・物価高騰に対する経済支援について
- ②住環境の整備について
- ③脱炭素の取組について
- ④公共交通について

p13 個人質問 さんむ21 いしかわ 石川 かずひさ 和久

- ①市長の公約について

一般質問とは、議員が、市の事務の執行状況や将来の方針などについての報告や説明を市長などに求め、市が適切な市政運営を進めているか、チェックするものです。

山武市議会では、議員は年4回の定例会で一般質問することができ、質問の範囲は、市の行財政全般のほか、地域の住民生活に密接している事項など、多岐にわたります。

なお、議会だよりの一般質問に関するページは、質問した議員が自ら原稿を作成し、掲載しています。

※今回の6月定例会の会議録は、図書館またはインターネットでご覧いただけます。(9月中旬発行予定)

議会中継へ簡単アクセス

より気軽に視聴することができるよう、一般質問の掲載ページに、録画映像が視聴できるQRコードを添付しました。



スマートフォンやタブレットでご覧ください。

※上記には、「一般質問通告書」の内容を記載しています。



市長の政治姿勢について

問 成東地区の中学校統合問題をごどのように判断されるのか伺います。

答 市長 成東中学校校舎の現状および当該地区の今後の児童生徒数の推移、さらには、市のまちづくり、何よりも子ども達の教育環境のことを考えた結果、成東中学校と成東東中学校の統合中学校は、成東中学校区の市街地に新設したいとの考えにたどり着きました。私の考えを市教育委員会に伝え、協議を進めたいと考えています。

問 成東中学校区の市街地に整備することですが、具体的な場所は考えているのか伺います。

答 市長 現時点で、特定の場所は考えておらず、今後検討していきます。

問 過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法（新過疎法）により、旧松尾町区域が過疎地域に指定されましたが、本市を取り巻く現状と今後の手続きについて伺います。

答 総合政策部長 本年4月の、山武市を含む追加指定により、県内では13市町、15区域が過疎地域となりました。全国では、65団体が新たに加わり、全1718市町村中の885団体、約51.5%が過疎地域に指定されています。

今後は、県の過疎地域持続的発展方針に基づき、過疎地域持続的発展計画を定める必要があります。

その後、新過疎法に基づく財政的な支援措置を有効に活用しながら、さまざまな事業を実施していくことが可能となります。

問 現時点で予定している具体的な対象事業について伺います。

答 総合政策部長 令和4年度予算にて執行する事業を含めることができるため、旧松尾町区域で実施している排水対策事業や新校舎整備事業を発展計画に位置づけることで、予定していた財源を合併特例債から過疎対策事業債に切り替えることも可能となります。

消防防災対策について

問 市内の消火栓設置数とホース格納箱設置数について伺います。

答 総務部長 各地域における設置数およびホース格納箱設置率は、下表のとおりです。

問 令和2年度と令和3年度のホース格納箱の新設数および老朽化に

伴う交換数、また、その手続方法について伺います。

答 総務部長 令和2年度は新設が5か所、老朽化に伴う交換が7か所です。令和3年度は新設が2か所、老朽化に伴う交換が14か所です。

なお、その新設や交換は、消防団や区長からの要望書により予算措置を行い、実施しています。

問 地域によって設置数に差があるようですが、今後のホース格納箱の新設について、市の見解を伺います。

答 総務部長 地域のバランス等も考慮して、人家の密集している地区を中心に、計画的に設置したいと考えています。

【設置数およびホース格納箱の設置率】

地域	消火栓	ホース格納箱	設置率
成東地域	388か所	208か所	53.61%
山武地域	331か所	5か所	1.51%
蓮沼地域	119か所	37か所	31.09%
松尾地域	228か所	107か所	46.93%
市全体	1,066か所	357か所	33.49%

窓口業務の効率化について

問 窓口業務の市の施策について伺います。

答 市民部長 窓口自動案内シス

テムの導入やコンビニエンスストアでの証明書交付サービスを実施しています。

コンビニエンスストア交付サービスは、マイナンバーカードを使用することで証明書が取得でき、窓口の混雑緩和や市民の利便性向上に寄与します。

また、交付手数料は、市役所窓口よりも100円安く取得できます。

マイナンバーカードについて

問 本市のマイナンバーカードの交付状況について伺います。

答 市民部長 本年5月末日時点で、本市の交付累計は1万9870人、交付率が39.5%です。県平均の交付率は45.6%、全国平均（4月末日時点）の交付率は44.0%であり、これらを下回る状況です。

そこで、今年度から、市内のスーパー等の集客力のある場所へ職員が赴き、買い物客を対象に、マイナンバーカードの申請案内および申請をサポートする取組を実施しています。

問 マイナンバーカードに口座情報結びつけようとする国の意図およびその理由について伺います。

答 総合政策部長 個人の口座を事前に把握することで、感染症拡大や災害発生時の際、公的給付金を政府が速やかに振り込めるようにするためと聞いています。

代表質問



新国会 戸村勝敏 議員

森林整備について

問 台風被害に係る市内の森林整備の状況について伺います。

答 産業振興部長 はじめに、非赤枯性腐朽病によるサンブスギ被害林等の整備、造林、保育および間伐材搬出等を行う者を補助対象とする「サンブスギ林再生・資源循環促進事業」では、被害木の伐倒・搬出が2・94ヘクタール、被害木の運搬量が690立米です。

次に、材木の健全な成長を促進し、優良な森林を造成する森林所有者を補助対象とする「県単森林整備事業」では、人工林の地植え、植栽が1・49ヘクタール、間伐が0・39ヘクタール、発生材等の運搬量が582立米です。

最後に、市単独補助事業の、山林から搬出された木材の買取価格に補助を行う「木材流通システム助成事業」では、搬出量が1040・86トンです。

問 浦安市との間で締結した「森林整備に係る連携協定」のような取組をもっと増やすことで、森林整備をよ

り加速することが可能になると考えますが、市の見解を伺います。

答 市長 浦安市と締結した森林整備に関する協定は、本市にとっては森林整備の促進を、浦安市にとってはカーボン・オフセットの獲得をもたらす、両市にメリットがあるものです。

森林整備に関わる人材資源の不足等の状況から、双方がメリットを感じられる協定を多くの自治体と結ぶことは、困難であると考えます。

ただし、今回の連携では、サンブスギ加工製品を浦安市に提供できる機会を設けており、浦安市民の皆様に触れてもらい、その良さを感じていただき、サンブスギのブランド価値を高める一つの機会にしたいと考えています。

道路整備について

問 実門公民館から富里市方面に向かう、市道睦岡5号線は、生活道路としては道路幅が狭く、整備を要望する声がありますが、現在の状況を伺います。

答 建設環境部長 現時点では、道路整備の事業化には至っていませんが、令和2年11月に要望が出された後、区長立会いのもと状況確認を行いました。

また、その際には、緊急性等を考慮し、当該市道と県道八日市場八街線との接続付近の整備を優先している旨を説明し、時間をいただいている状況です。



新国会 齋藤昌秀 議員

窓口業務の効率化について

問 市役所の窓口では、証明書の手数料の支払いがどのように行われているのか伺います。

答 市民部長 市民課での例を挙げます。①窓口からお客様の呼び出し、②証明書を交付し、手数料として現金のお預かり、③職員がレジスターに打ち込み、お客様へレシートと釣銭のお渡しという流れです。

問 最近、コンビニエンスストアやスーパーなどの店舗では、セルフレジの導入が進み、支払い精算は、お客様自身で行うというスタイルが、普及してきているように感じます。

市役所でも、こうしたセルフレジを導入することで、窓口業務の効率化が図れるものと考えますが、市の見解を伺います。

答 市民部長 現在は、コロナ禍における感染症拡大防止のため、手数料支払い精算時の現金等の取扱の際には、手袋着用に加え、トレイによる受

渡しを行っています。

近頃では、現金の手渡しを要することなく、かつ、現金を投入すると、自動で釣銭が出てくる「非接触型タイプ」のレジスターも多く目にするようになり、これを運用できれば、感染症予防が図られ、さらには、窓口業務の効率化も図れるものと考えます。

現在使用しているレジスターの更新の際には、セルフレジの導入について検討していきます。

ヤングケアラー支援について

問 近年、全国的な問題となっているヤングケアラーですが、本市の現状と、学校における今後の支援方法について伺います。

答 市長 既存の体制を活かしながら、まずは、ヤングケアラーの現状と課題を把握して、知識を深め、本市に必要なとなる国の支援制度を受けられるよう努めていきます。

答 教育部長 教職員をはじめ、全小中学校に配置しているスクールカウンセラー等と連携し、ヤングケアラーという視点をしっかりと意識したうえで、児童生徒への学校生活における見守りやカウンセリングの実施等により、状況を把握し、必要な支援へとつなげていきたいと考えます。



わたなべ さとし
新正会 渡邊 聡 議員

安心安全メールの周知について

問 安心安全メールと山武市公式LINEの今後の周知方法を伺います。

答 総合政策部長 多くのの方に登録いただけるよう、各団体の集まりや学校・企業等に出向いて説明するなど、さまざまな周知を試みていきます。

道路整備について

問 日向の里から雨坪地先の市道日向307号線の間接部、約300メートルが整備されないうままであり、一部は応急的に対応されています。事業再開に向けて、現在の状況を伺います。

答 建設環境部長 今年度は、立竹木等の調査を予定しています。

駅周辺の整備について

問 第2次山武市総合計画の重点分野として、成東駅北側道路整備が明記されています。早期に事業化すべきと考えますが、現在の状況を伺います。

答 都市整備課長 令和3年6月

改訂の山武市都市計画マスタープランでは、都市計画道路和田新泉線を必要に応じて見直す旨、明記しました。また、必要な現況測量を昨年度実施しています。

問 都市計画道路としての事業化に向けた今後の進め方を伺います。

また、道路整備の事業化の時期はいつ頃を見込んでいるのか伺います。

答 都市整備課長 現在決定されている都市計画道路の変更手続きが必要となるため、今年度は、外部委託により、根拠資料や法定図書を作成を進め、その後、地元等への説明を経て手続きを開始したいと考えています。

なお、前述の変更手続きは、開始から約1年を要すると考えています。

問 日向駅周辺整備について、市の見解を伺います。

答 都市整備課長 地元の機運や市が事業化する必要性を含め、慎重に検討すべきと考えます。

学校の跡地利用に係る条件付き公募について

問 公募にて利活用業者を募集中の旧山武西小学校ですが、地域活動の拠点にもなっており、その活動への影響が懸念されます。市の見解を伺います。

答 総合政策部長 募集要項の中で、地域のお祭りや会議等の活動に、十分な配慮をするよう条件を設定しています。

議場ってどんなところ？

議場は市役所3階にあり、市政全般にわたる重要事項は、ここで決定されます。

普段あまり目にする機会がない議場の中をご紹介します。

傍聴席から見た議場



山武市の議場は、議員と執行部（行政側）が向かい合う「対面式」の配置になっており、正面には、国旗と市旗が掲揚されています。

本会議は、3月・6月・9月・12月に定期的に行われる定例会と、必要に応じて開かれる臨時会があります。

また、本会議は一般公開しており、どなたでも傍聴することができます。（傍聴規則に基づく入場制限あり）

議長席から見た議場



議員席後方に傍聴席を配置しています。傍聴を希望される方は、本会議当日に市役所3階までお越しください。（事前予約不要）

なお、新型コロナウイルス感染症対策として、傍聴席数の削減、マスク着用、手指消毒、検温等を実施していますので、ご協力をお願いします。



公明党 市川陽子 議員

地方創生臨時交付金について

問 「コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分」として拡充された臨時交付金の本市への総額を伺います。

答 総合政策部長 本市への交付金は2億788万1000円が示されており、その内訳は、原油価格・物価高騰対応分として1億559万1000円、通常分として5197万円です。

問 食材や光熱費が高騰しており、幼児教育・保育施設等では、給食費への影響が懸念されます。

また、燃料費の高騰による、市の交通機関(乗合タクシーや幹線バス等)の運行料金への影響も懸念されます。

利用者負担が増加しないよう、交付金の活用を望みますが、市の見解を伺います。

答 市長 質・量を維持し、保護者に追加の負担を求めることのないよう交付金を活用し、給食費を据え置きます。

答 総合政策部長 燃料費高騰により、市内公共交通事業者にも影響が

出ています。その状況を緩和するため、交付金を活用した、事業継続のための支援を検討していきます。

問 水道、電気、ガスなどの公共料金の高騰により、痛手を負っている市民への生活支援を目的とする「山武市お買物割引券」の追加配布について、見解を伺います。

答 産業振興部長 地域の実情に応じた支援策として、現在実施中の「地域応援!!山武市お買物割引券」の追加配布を検討していきます。

安全・安心なまちづくりについて

問 災害で断水等が発生した際、市が設置する給水所まで出向くことが困難な高齢者等に対し、各公民館等への給水の巡回が有効と考えますが、見解を伺います。

答 総務部長 現在、そのような在宅避難者に対し、民生委員や区長、自主防災組織、ボランティア等と連携した支援を計画しており、今後、関係者へ取組内容等の周知を図り、体制づくりを推進していきます。

ヤングケアラー支援対策について

問 本市のヤングケアラーに関する実態調査の結果について伺います。

答 教育部長 本年3月、市内小中学校16校の小学4年生から中学3年生を対象にアンケートを実施したとこ

ろ、1730件の回答がありました。

その結果、「家族の世話をしている」との回答が254件、14・7%あり、その世話を必要としている家族についての回答は「兄弟」が48%、「父母」が14・2%、「祖父母」が13・4%でした。

世話をしている理由を問う質問に対しては「わからない」との回答が多く、子ども自身は状況をよく理解しないまま、世話をしていることが考えられます。

また、「そのことで、欠席や遅刻、早退、自分の時間が取れない」との回答は76件あり、日々の生活に影響が出ていることがうかがえます。

答 教育部長 無自覚のまま負担がかかっているケースも多く、周囲の大人が子どもの様子の変化に気づき、声をかけることが重要と考えます。そこで、幼少期から少年期まで総合的に支援するため、令和3年度には組織改編を行い、学校と家庭の様子をよりスムーズに情報共有することができるよう体制づくりを実施しました。

また、新たな取組として、関係部署間でトータルサポート会議を設置するなど、十分な連携を取っており、今後より一層、支援の充実を図ります。

問 相談体制の整備およびその周知方法について伺います。

答 教育部長 相談窓口について、学校だよりやホームページに掲載し、長期休業(夏休み等)の前には家庭へ資料

を配布します。

また、心の教育相談員を学校に配置し、相談体制を整備しています。

答 保健福祉部長 ヤングケアラーの気づきは、地域の皆様の協力が重要であると考え、市職員のほか、民生委員、児童委員等を対象に研修会を開き、地域の見守り活動の中で、ヤングケアラーの支援につながるよう、地域の支援体制づくりに努めます。

予防接種について

問 带状疱疹の予防接種は2回接種が必要となるうえ、費用が高額です。市民の健康を守る観点から、接種の周知と費用助成について見解を伺います。

答 市長 高齢者の带状疱疹発症率は増加傾向にあることを鑑み、ワクチン接種によるメリット・デメリットを含む情報を周知したいと考えます。

また、費用助成については、国の動向を注視しつつ、医師会と協議しながら検討していきます。

問 高齢者肺炎球菌ワクチンの2回目以降接種に対する費用助成について伺います。

答 市長 2回目以降の接種は、任意接種との位置づけから、現在、市では公費負担の予定はありません。しかし、医療費削減の観点からも有効と思われるため、定期接種化を国に要望します。



防災拠点の再整備について

問 市長が重点施策として掲げる「防災公園の整備」ですが、その整備内容および財源について伺います。

答 総務部長 既存の施設を活用しつつ、防災公園として必要な機能を検討し、整備する取組となります。

なお、財源は、国・県の補助金を活用するとともに、緊急防災・減災事業債の活用も検討しています。

問 さんぶの森公園は指定緊急避難場所に指定されていますが、令和元年房総半島台風の際には、あららぎ館へ、多くの被災者および支援者が集まることとなりました。

今後、さんぶの森公園を防災公園へと整備するのであれば、あららぎ館、さんぶの森ふれあい公園多目的広場、さんぶの森中央会館、さんぶの森文化ホール、さんぶの森診療所等も一体として捉え、地域の防災拠点にしてはとありますが、市の見解を伺います。

答 総務部長 さんぶの森周辺エリアは、防災機能を有した施設等が集中しています。防災公園化するにあたっては、電源の確保対策や救援物資受入れ体制の整備等を計画し、地域の防災拠点となるべく、検討を進めます。

公共交通のさらなる充実について

問 私案ですが、①旧町内を区域とした小型の地域循環バスで地域の点をつなぎ、②ワゴン型のデマンドタクシーで面をカバーし、③「蓮沼・松尾・成田空港」間と「成東・山武・成田空港」間をそれぞれ運行する通勤シャトルバスで、成田空港の機能強化による活力と人を呼び込むことで、公共交通の充実を図れるものと提案しますが、市長の見解を伺います。

答 市長 地域における公共交通は、まちづくりにとって切り離せないものであり、高齢化社会を迎え、非常に重要なものだと認識しています。

同時に、持続可能な運行を前提に、すべての方に満足いただける公共交通網をつくることは、非常に難しいものだと感じています。

しかし、公約に「公共交通のさらなる充実」を掲げた以上、改善と工夫は常に検討し、先進的な取組にもチャレンジしていきたいと考えます。



ゼロカーボン施策の推進について

問 市長が思い描く2050年の山武市ゼロカーボンシティの姿について伺います。

答 市長 地域の交通手段には、自動運転によりグリーンスローモビリティが運行されています。太陽光や洋上風力などの再生可能エネルギーにより経済活動が行われており、森林は整備され、豊かな自然を生かしたエネルギーの地産地消によって、地域経済循環が実践された「持続可能な、災害に強い、市民が安心して暮らせるまち」を思い描いています。

問 ゼロカーボンシティの実現へ向け、指摘される多くの課題をどのように克服していくのか伺います。

答 市長 市民や事業者、行政が一体となって脱炭素化を目指していきます。気候変動をめぐる社会情勢や、その課題に関し、共通の理解が得られるということ、主体的な活動を生み出す環境を創出していくことが、本当に必要であると考えます。

再生可能エネルギー導入促進補助金の拡充について

問 具体的な取組について伺います。

答 建設環境部長 今年度は、定置用リチウムイオン蓄電システムをはじめ、家庭用燃料電池システム、窓の断熱改修、太陽熱利用システム、電気自動車、V2H充放電設備などの導入について補助制度を設け、家庭における脱炭素化の取組を推進します。

地元産食材の活用について

問 高騰する小麦に代わり、市内のお米で作った米粉の地産地消が可能と考えますが、市の見解を伺います。

答 産業振興部長 市内に、米粉用米を作付する農家がない現状では、主食用米を米粉にすることとなり、米粉自体が高額となるため、地産地消による米粉の普及は難しいと考えます。

避難所運営について

問 避難所運営委員会の設立に向けた市の取組内容を伺います。

答 総務部長 自主防災組織の避難所運営委員会設立の意向が確認できた地域と協議を進め、設立後には、開設運営のルールを定めます。訓練を行い、活動の実効性の向上を図った後、市内全体に普及していきたいと考えます。



おがわかずま
れいわ 小川一馬 議員



山武市の海岸について

問 海水浴場の今後の在り方に関する市の方針について伺います。

答 産業振興部長 今後の海岸の有効的な活用方法に関しては、地元地域の皆様と市観光協会と話し合いを重ね、市内5か所の海水浴場開設の在り方も含めて、検討していきたいと考えています。

問 県内では、木更津市の潮干狩り場が有名ですが、例えば、一部の海岸で限定開設するなど、本市の海岸でも、ハマグリや潮干狩り場を開設してはどうかと考えますが、市の見解を伺います。

答 産業振興部長 九十九里浜には、漁業権が設定されており、一般の方には、ハマグリやナガラミなどを採ることはできません。潮干狩り場を開設するためには、漁業権について、九十九里漁業協同組合や地元地域の皆様との調整

が不可欠となりますので、今後、実現の可能性も含めて、九十九里漁業協同組合に確認していきます。

問 町村合併以降、潮干狩り場の開設について、九十九里漁業協同組合との相談や協議の有無について伺います。

答 産業振興部長 私が、産業振興部長を拝命した令和3年度以降は、まだそのような機会はありませんが、以前、実務担当者間において、打合せ等を数回行ったと聞いています。

問 海岸入口の設備については、海岸ごとに大きな違いがあると感じています。例えば、本須賀海岸は、駐車場やトイレ、シャワー設備が充実し、海岸近くまでの車の乗り入れが可能です。しかし、ほかの海岸には常設トイレがなく、海岸入口に門扉が設置されているため、観光客が海岸近くまで行くことが困難な状況です。

答 産業振興部長 本須賀海岸は、年間を通して、公共の駐車場とトイレ・シャワー施設を提供しています。その他の海岸に関しては、海水浴場開設期間は、門扉を開錠し、海岸近くの駐車場を利用いただくとともに、仮設トイレを設置することで、海水浴客に対応しています。

すべての海岸に、通年利用可能な駐車場やトイレ・シャワー施設を整備することは、本市の財政状況を鑑みると、困難であると考えます。

問 房総九十九里浜のビーチラインの海岸の中で、唯一、海岸入口が門扉で閉ざされているのが、山武市の海岸です。

答 年間を通して、観光客に海岸を楽しんでいただくため、門扉を撤去することはできないのか、見解を伺います。

答 産業振興部長 海岸入口の門扉は、県立九十九里自然公園の特別地域に指定されている自然環境を、無秩序な車両等の乗り入れで破壊されないよう、平成10年4月から、県が設置しているものであり、海岸の管理上、必要な設備であると考えます。

また、地元地域の皆様からは、密猟の抑止やごみの不法投棄防止となることから、海水浴場開設期間以外は、門扉を開錠しないよう要望も出ています。

問 蓮沼海浜公園周辺の保安林の中には、栗山川から木戸川まで約5キロメートルの遊歩道があります。

答 観光資源である、遊歩道の有効的な活用について、見解を伺います。

答 産業振興部長 保安林の中の遊歩道は、県の北部林業事務所による管理となりますが、現在、その維持管理が十分にされずに草木等が生い茂って

いることから、利用困難な状況となっております。

観光客や地元地域の皆様が利用できるように、適正な維持管理について、千葉県に要望していきます。

問 本須賀海水浴場の国際環境認証「ブルーフラッグ」取得を活用した事業の取組について伺います。

答 産業振興部長 美しい海岸を6か所保有し、都内からも比較的近い本市では、令和3年度には、海岸を撮影場所とするテレビCMやミュージックビデオ、写真撮影が、年間約60件行われました。今後は、ロケツアーリズム（映画やテレビ番組等のロケ地を巡る観光）など、持続的な観光振興の取組につながる観光資源として、活かしていきたいと考えています。

また、近年は、コロナ禍で海岸を利用したイベント等は開催できませんでしたが、今後は、感染状況をみながら、民間事業者と連携したスポーツイベント等の開催を検討していきます。

問 本市の海岸の魅力、または、ポテンシャルについて、市長の見解を伺います。

答 市長 約8キロメートルにわたる、美しく豊かな海岸を有効的に活用し、海岸地域全体を盛り上げていくことは、本市の観光振興と地域経済活性化のためには、必要不可欠であると

考えます。

そこで、現在、九十九里海岸を擁する自治体に対して、海岸を活かした地域振興策等を協議する場の創設に向けて働きかけを行っています。

また、県が計画している蓮沼海浜公園再整備事業に関しても、地元地域の方々の声を聞きながら、関係機関と連絡調整をしっかりと行い、持続可能な活気ある海岸を目指し、取り組んでいきます。

教育行政について

問 学校図書の数と、コロナ禍における小中学校図書室の利用状況について伺います。

答 教育部長 本市の小学校の平均蔵書数は8434冊、中学校の平均蔵書数は1万1500冊です。これは、学級数に応じて定められている標準蔵書数を大きく超える蔵書数であり、本市は、図書室における本の冊数は充実していると考えています。

利用状況ですが、バーコードシステムを通して貸出した本の冊数は、令和3年度の1年間で、小学校は1万3275冊、中学校は1150冊です。

なお、図書室の利用としては、貸出し以外にも、読書の時間での活用、調べ学習での活用もあります。



議員 津美 美津 玉置 たまき みつえ

ブルーフラッグ認証について

問 海の清掃活動で回収される、ごみの年間量について伺います。

答 産業振興部長 令和3年度の海岸清掃とビーチクリーン活動によって回収したごみの量は、約55トンです。

近年は海水浴場が開設できませんでしたが、ごみの量はなかなか減らないのが現状です。

問 海のごみの7割は、川から流れてくると言われていますが、その流入するごみの対策について伺います。

答 産業振興部長 海岸の河口付近でごみを発見した場合は、すぐに回収作業を行っており、ごみの堆積や悪臭の発生を未然に防止するよう努めています。

問 シルバー人材センターで回収した、不法投棄ごみの量を伺います。

答 建設環境部長 本年4月の地域パトロールで回収した1か月間のごみの量は、山武地域で169袋の390

キログラム、松尾・蓮沼地域で157袋の400キログラムが、山武郡市環境衛生組合に持ち込まれています。

また、成東地域では、東金市外三市町清掃組合でごみ処理を行う関係上、直接持ち込みによる計量を行っていませんが、189袋のごみが回収されたとの報告がありました。

問 ごみのポイ捨ては、さまざまな法律により禁止されており、罰せられる行為であることをより広く周知するため、市のホームページや広報等の活用が可能であるか伺います。

答 建設環境部長 ホームページや広報等により、注意喚起を積極的に行うなど、ごみがポイ捨てされないよう、啓発に努めます。

教育行政について

問 他自治体で導入事例のある「心の天気」という、生徒の心の状態が把握できるアプリの導入について伺います。

答 教育部長 現在、いじめの早期発見の手立てとして、日常の児童生徒の様子を観察に加え、定期的な教育相談やアンケート調査を実施しています。

また、スマートフォンや自宅パソコン等から、市の相談窓口にご相談できる体制も構築されています。

なお、1人1台配備されているタブレットパソコンには「心の天気」に類似

するシステムがすでに整備されており、その活用を今後検討していきます。

問 国が策定した学校図書館の整備計画で柱とされている、学校への新聞の配備について、現状を伺います。

答 教育部長 図書室に新聞を配備している学校は、2校です。その他職員室で活用した新聞を早い時間に図書室に置くことで、少なくとも各校1紙は配備されるようになっていきます。

問 小学校の図書室への、子ども新聞の配備について伺います。

答 教育部長 子ども新聞は、新聞社によって発行ペースが異なり、日刊で月1800円、週刊で月1000円程度の費用がかかります。

なお、購入は学校ごとの裁量として、各学校の予算内であれば、配備は可能と考えます。

問 学校図書が配置されたモデル校の創設について伺います。

答 教育部長 本市では、2名の図書支援員がすべての学校を回っており、主な活動内容は、本の整理や古い本の修理、貸し出し用のパソコン管理や掲示物の作成、本の紹介などを行っています。

また、市内図書館と連携し、図書の実を図っています。これは、学校図書と同様な位置付けとして考えており、現在の運用を維持していきたいと考えます。



日本共産党 並木幹男 議員

コロナ禍における原油価格・物価高騰に対する経済支援について

問 原油価格や物価高騰に直面する生活困窮者を対象として行う支援事業について伺います。

答 保健福祉部長 本市では、原油価格・物価高騰等総合緊急対策として、食費等の物価高騰に直面する低所得の子育て世帯に対し、その実情を踏まえた生活支援となるよう、子育て世帯生活支援特別給付金支給事業（児童一人当たり5万円の給付）を実施します。

また、国では、令和4年度に新たに非課税となった世帯に対し、住民税非課税世帯等臨時特別給付金（一世帯当たり10万円）の支給を決定しました。

本市においても、対象となる方に早急に給付ができるよう準備を進めています。

問 物価高騰により、保護者が負

担する給食費の値上げが懸念される中、今年度は、地方創生臨時交付金による支援措置により対応が可能ですが、来年度以降もこの取組を継続するために、自治体が独自に財源を確保しなければなりません。来年度以降の取組について市の見解を伺います。

答 市長 本市では、この緊急対策の趣旨に鑑み、小中学校および幼稚園、こども園、保育施設等の給食については、従来どおりの質・量を維持しつつ、物価高騰による賄材料費の値上がり分を保護者が追加負担することがないよう、当該交付金を活用して、学校給食費を据え置いています。

今後の給食費に対する支援については、国の動向を見定めながら、検討していきます。

問 全国でも、給食費無償化に踏み切った自治体が増えてきています。物価高騰で国民が苦難を強いられる今こそ、国の政策として、学校給食費の無償化を実現すべきだと考えますが、市長の見解を伺います。

答 市長 現在、本市では、少子化対策の面から、こども園・幼稚園の給食費のうち、第三子以降の給食費は無償としています。また、小中学校については、子どもの貧困対策として、生活保護世帯や就学援助制度の該当世帯の給食費は、公費負担としています。

先日、千葉県議会において、熊谷知事から「子どもの多い世帯の家計負担が懸念されることから、市町村と連携して検討を行い、年度内にその世帯を対象とした無償化が実施できるよう準備を進める」との答弁がされたことから、本市としては、県の動向を注視していきたいと考えます。

また、他団体の無償化の取組は承知していますが、市内すべての小中学生の給食費を無償化するには、毎年、多額の財源が必要となるため、慎重な検討が必要であると考えます。

脱炭素の取組について

問 環境省は、本年4月の、プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律の施行に先立って、「プラスチック使用製品廃棄物の分別収集の手引き」を発表しました。今後のプラスチックごみの分別収集における取組内容について伺います。

答 建設環境部長 プラスチックの資源循環の推進は重要な取組であるとして、山武郡市環境衛生組合では認識しており、プラスチックごみの分別収集を進めるにあたり、まずは、先進事例の調査や専門家からの意見聴取、課題の洗い出し等を行っていくと聞いています。

問 今後、山武郡市環境衛生組合では、新ごみ処理施設の整備が予定さ

れています。プラスチックごみの取扱いについては、どのように計画しているのか伺います。

答 建設環境部長 山武郡市環境衛生組合にて進めている「新ごみ処理施設整備計画」は、プラスチックごみをプラスチック資源として回収するのではなく、現在の処理方法と同様に、他の可燃物と併せて焼却処理し、その際に発生する燃焼エネルギーを活用して発電することにより、プラスチック資源を無駄にすることなく、電力として回収する計画となりました。

しかし、昨今の法制定など国の動向等からも、プラスチック資源循環については、急速な進展が見込まれる中、当組合では、新ごみ処理施設整備計画における今後のプラスチックごみの取扱いについて、構成団体である山武市、芝山町、横芝光町と調整を図っていくこととしており、施設整備計画を変更することもあると聞いています。





いしわかかずひさ
さんむ21 石川和久 議員

市長の公約について

問 二期目の市政運営のかじ取りがスタートしましたが、一期目で掲げた公約のうち、停滞してしまった施策について、市長の見解を伺います。

答 市長 一期目では、大きく8つの政策を掲げ、それらを第2次総合計画において重点項目として連動させ、行政運営を行ってきました。

しかし、社会環境やニーズの変化等に伴い、結果として、その実現には至っていない事業もありますが、進展に向けて、引き続き、全力で対応していきたいと考えます。

問 二期目の公約で掲げている「教育施設の充実」に関連して、成東中学校と成東東中学校の統合に係る現時点でのスケジュールを伺います。

答 教育部長 平成28年9月に策定された「山武市立小中学校の規模適正化・適正配置基本計画」において、成

東中学校と成東東中学校の統合は『①地域性や通学距離の視点、また、今後の生徒数・学級数の推移や成東中学校校舎の老朽化への対応等を総合的に勘案し、2校での統合を検討する。②統合年度は、令和5年4月開校を目指し、検討する。③統合後の学校位置は、地域性や通学距離を考慮し、現成東東中学校を学校位置として検討する。』としてい

ます。その際、計画されたスケジュールは、下表のとおりであり、今年度は、統合に関する協議の2年目という段階です。

	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
統合関係	実施計画策定	統合準備専門部会（仮称）の設置		新中学校開校			
施設整備		授業や部活動に必要な施設の整備					
跡地利用			閉校	跡地利用について検討			

【成東中学校と成東東中学校の統合スケジュール（平成28年基本計画抜粋）】

問 本来であれば、実施計画を進めている段階とのことですが、成東中学校の校舎老朽化が懸念されている中、統合が進まないのであれば、市民に説明するべきと考えますが、市長の見解を伺います。

答 市長 4年前の市長就任時、将来のまちづくりや生徒数の推計等を

見据えて、統合後の学校位置を成東東中学校とする計画は、一度立ち止まって、再考した方がいいものと判断しました。そして、成東中学校の老朽化対応のための必要な修繕を実施すると並行して、熟慮した結果、山武市の中心である成東中学校区の市街地に統合中学校を新設したいとの考えにたどり着きました。

ただし、まだ具体的な場所は決まっていませんので、これから教育委員会等と協議し、しかるべき時期に、市民の皆様へしっかりと説明したいと考えます。

問 一期目において、すべての取組を人口減対策および少子高齢化対策につなげるとされていましたが、成果として表れていません。

二期目を迎えるにあたり、市長の目指すべき人口減対策とは、人口増なのか、現状維持とするのか、減少の速度を鈍化させたいのか、そのビジョンを伺います。

答 市長 これまで、人口減少によるさまざまな問題を懸念し、施策のすべてを人口減対策につなげるものとして、一つひとつ取り組んできましたが、その特効薬を見つかることはできませんでした。

しかし、一期目にスタートさせたさまざまな政策を、引き続き取り組み、地域

の活性化を図ることで、人口減少の傾向を、少しでも緩やかなものに抑えていきたいと考えます。

行財政改革の見直しについて

問 今定例会冒頭の、市長の所信表明にも挙げられていた「行財政改革の抜本的な見直し」についてですが、現在、どのような課題を抱え、それをどのように改善していくのか、市の見解を伺います。

答 市長 人口減少に伴う税込減や高齢化の進展による社会保障費の増大、今後見込まれる大型事業の実施など、より一層厳しい財政事情が見込まれます。そのような中、市民の皆様には、約束した政策を着実に実施するため、また、複雑化・多様化する行政需要に的確に対応するため、今まで実施してきた取組をさらに強化しなければならないと考えています。

まず、今まで以上に財源を確保する取組や事務事業の不断の見直し、また、それ以外にも、公の施設の見直し等の財を生み出す改革を推進します。

次に、職員が意欲や能力を発揮でき、組織力の向上につながる人材の育成を推進します。

さらには、業務の効率化を図り、市民サービスの向上を目指すため、自治体DXの推進に取り組んでいきます。

山武市議会活動レポート

■山武郡市議会議員 研修会



7月13日に、成東文化会館のぎくプラザにおいて、龍谷大学政策学部教授の服部圭郎氏^{はっとりけいろう}を講師に迎え、『人口縮小におけるまちづくり』と題した研修会が開催されました。3年ぶりの開催となる研修会には、山武郡内の大勢の市町議会議員が参加し、山武市議会からも全議員が参加しました。

■九十九里町議会 視察受け入れ



4月26日に、タブレット端末の導入について、本市議会への視察がありました。議会事務局が説明を行い、終了後、タブレット操作演習や質疑応答を行いました。

■新人議員研修会



市議会議員補欠選挙で当選した渡邊議員を対象に、5月11日に新人議員研修会を開催しました。議会運営に関することや市の総合計画・予算等についての説明を受けました。

■浦安市議会 視察受け入れ



5月16日に、浦安市と山武市の連携による森林整備事業の取組について、本市への視察がありました。産業振興部農政課が説明を行い、終了後には、林業従事者（八角公二議員）立会いのもと、現地視察（日向の森）や質疑応答を行いました。



ようこそ 議場へ!

校外学習の一環として、市内の小学校3年生の皆さんが議場の見学に訪れました。初めて入る議場に、引率の先生も含め、皆さん興味深々。

実際に議席に座るなど、議会の雰囲気を体験していただきました。



鳴浜小学校（5月20日）



緑海小学校（6月6日）



睦岡小学校（6月14日）



日向小学校（6月16日）



蓮沼小学校（6月17日）

議長交際費および政務活動費の執行状況の公開

市議会では、議長交際費の執行状況（支払日、内容、金額等）を、毎月ごとに翌月10日頃からホームページで公開しています。

また、各会派へ交付されている政務活動費の執行状況は、各年度ごとに翌年度6月から公表しており、令和3年度分についても、政務活動費収支報告書および支出伝票（領収書添付）の写しを、6月1日からホームページに掲載しています。

これからも、市民の皆様に対して積極的に情報を提供することで、透明で開かれた議会運営に取り組んでまいります。

議長交際費とは？

議長が議会を代表して外部と交際するための経費で、慶事・弔事・見舞・会費など、社会通念上妥当と認められる必要最小限の金額を支出しています。



政務活動費とは？

議員が市政に関する調査研究等に資するために必要な経費の一部として、地方自治法及び市条例の規定（議員1人当たり月額15,000円）に基づいて交付され、年度末の精算により、不用額は市へ返還しています。



新人議員を紹介します

山武市議会議員補欠選挙が4月17日に行われ、渡邊聰氏（66歳／木原）が当選されました。

なお、所属する常任委員会は、文教厚生常任委員会に決定しました。



わたなべ さとし 議員
渡邊 聡

※この日程は予定であり、今後変更する可能性があります。	9/22(木)	9/15(木)	9/14(水)	9/13(火)	9/12(月)	9/9(金)	9/8(木)	9/7(水)	9/1(木)	令和4年 第3回定例会
	閉会	質疑、討論、採決	委員長報告	経済建設常任委員会	文教厚生常任委員会	総務常任委員会	委員会付託等	議案質疑	一般質問	議案の上程、説明等

編集後記

新型コロナウイルス感染症の終息の兆しが未だに見えない中、今年2月にはロシアによるウクライナ侵攻が始まり、世界中に激震が走りました。

数年前には想像すらできなかったことが次々と起き、そして、円安が日本経済へさまざまな影響し、ガソリンや食糧価格が高騰し、戦争の長期化でさらに先行きの見えない社会情勢が続いています。

特に、ロシアとウクライナの二か国は、世界の中で穀物（小麦・とうもろこし・ひまわり油）等の資源大国です。加えて、ロシアは化石燃料（天然ガス・石油・石炭）等でも世界有数の輸出大国であり、世界経済に与える影響は甚大です。

一日も早いロシアとの停戦と、ウクライナおよび世界の平和を心より願うのみです。

議会だより編集委員会

委員長 櫻田 基介
副委員長 玉置美津恵
委員 市川 陽子
小川 一馬
戸村 勝敏
齋藤 昌秀